

令和4年度 福祉教育への取り組み

福岡県立朝倉光陽高等学校 福祉デザイン類型

1 はじめに

本校、普通科福祉デザイン類型は、普通教科に加え、福祉に関する科目を学ぶことにより地域福祉に貢献できる人材を育成する類型です。また、介護職員初任者研修の修了とともに「福祉を身近なものとする」「福祉の活用について学ぶ」「福祉(幸せ)の心を学ぶ」ことで心の豊かさと福祉の実践力を身につけた人材育成を目指しています。

(福祉デザイン類型在籍数 3年生6名 2年生4名)

2 各学年の取り組み

2年生

○卒業生講話

本校を3月に卒業し4月から介護職として働いている卒業生から「介護の仕事」について話をしてもらいました。

生徒の声：介護の仕事は楽しそうだと感じた！



○夏季休業集中講義 「生活と家事」

介護職員初任者研修は、実際に介護が必要な利用者様の自宅で生活援助や身体介護を行える資格です。

実際に畳の部屋の掃除方法やアイロンのかけ方を学び、利用者様宅を想定した実習を行いました。



○校外での高齢者疑似体験

高齢者疑似体験を行いました。

高齢者に多い白内障のゴーグルを使い、バスの時刻表を確認しているところです。

生徒の声：普段の生活では気づかないバリアが多いと思った。



○総合的な探究の時間 インターンシップ・オープンキャンパス報告会

「福祉に関する進路」について発表

1・2年生を前に福祉に関する進路について、調べ学習、パワーポイントの作成、発表を行いました。

内容

福祉に関する資格、取得方法について

介護職の求人について、給与や各種手当について



○光陽祭（文化祭）「健康第一～身体チェック～」出店

社会福祉法人寿泉会 介護老人保健施設ラ・パスの職員の方と一緒に光陽祭での出店をしました。手洗いチェッカーや、握力測定、骨密度検査を多くのお客様に体験していただきました。

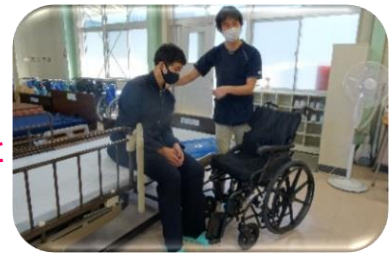
○社会人招聘事業

9月には、九州看護福祉大学より介護福祉士の馬場様に「介護におけるコミュニケーション」について授業をしていただきました。

10月には、原鶴温泉病院より作業療法士の川添様に「医療との連携とリハビリテーション」「快適な居住環境整備と介護」について授業をしていただきました。



生徒の声：
コミュニケーションは話すことより聞くことが大切だと学んだ。



○認知症サポーター養成講座

認知症を理解するために、甘木・朝倉地域包括支援センターより講師をお招きし、認知症サポーター養成講座を行いました。今回は祖母が認知症という想定で、対応方法を考え、ひとりずつ実演しました。

生徒の声：対応の仕方が分からずにあわてた。実践するとすごく難しいと感じた。



○普通救命講習Ⅰ



福祉デザイン類型では、毎年普通救命講習Ⅰを受講します。

生徒の声：日常生活だけではなく施設で働く上でも活用できる能力だし、もし自分がそういった場面に遭遇したときは焦らずに落ち着いて対応していきたい。

○外国人介護職員交流会

社会福祉法人寿泉会 介護老人保健施設ラ・パスで働くミャンマー出身の技能実習生の方々とミャンマー料理を作り交流をしました。

生徒の声：ミャンマーのことや介護の仕事のことを楽しみながら学べて良い時間になった。



○九州大谷短期大学 C-1 グランプリ

グランプリ受賞 九州大谷短期大学

12月には、これまで身につけてきた介護技術や知識、福祉の心を活かして臨みました。

**生徒の声：利用者さんの意思の尊重と自立支援を心がけて介助を考えた。
緊張したが楽しかった。**



○福岡県高校生介護技術コンテスト 奨励賞

生徒の声：他校の発表を見ることができ、今の自分たちには足りていない技術や関わり方を見習っていきたいと思った。

○インターンシップ

地域の高齢者福祉施設で3日間のインターンシップを行いました。

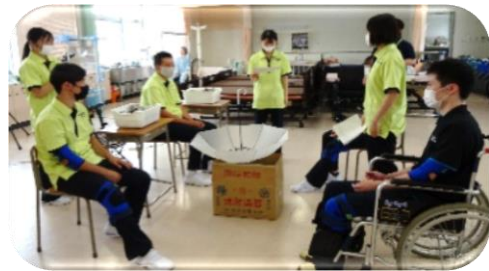
生徒の声：授業や学校では学べないことをたくさん経験することができた。利用者様の本音を聞くことができ、気持ちに寄り添った介護の大切さを学ぶことができた。



3年生

○社会人招聘事業

5月には、九州看護福祉大学より介護福祉士の馬場様に「介護過程の基礎的理解」について授業をしていただきました。6月には、社会福祉法人宏志会より、生活相談員の小坪様に「総合生活支援技術演習」について授業をしていただきました。



○保育所交流

久々宮保育所の園児と一緒にサツマイモの苗植え、収穫、スイートポテト作りをしました。



